

新型コロナ いま、 拡げない ために

換気が少ない室内

手を伸ばせば触れる距離

飲み会・立食パーティ・懇親会

閉鎖空間での食事会をしない

一定時間、話す

行動パターンを見直そう

厚生労働科学研究費補助金「大規模イベント時の健康危機管理対応に関する研究」

STOP
CORONAVIRUS
COVID-19

新型コロナウイルス感染症を 正しく知ろう

—若い人の自覚と行動が大切です—



弘前大学
HIROSAKI UNIVERSITY

はじめに

新型コロナウイルス感染症について、毎日のように報道されています。新型ですから、まだワクチンや特効薬がありませんし、まだわからないところも多いようですが、報道や専門機関のサイトの情報の中から、学生として知っておくべき点をまとめてみました。参考にしながら、適切に行動することで、感染の拡大を防ぎましょう。

1 感染と症状

新型コロナウイルスについては、感染しても症状が出るまでに1週間ほどかかる、特に若い人の場合には症状が出にくいこともあるなど、インフルエンザなどとは異なった症状が見られます。このため、**本人が気づかないうちに他人にうつしてしまう**ということにもなるわけで、**若い人ほど感染拡大に気をつけなければならないと自覚することが大切です。**

2 経過観察の目的

新年度に際しては人の移動が多くなり、様々な場面での感染の可能性が高くなると考えられます。4月から全員に、体温測定による経過観察をお願いしていますが、一定期間の経過観察を行うことにより、感染していないことを確認することが目的です。このため、**新たに感染する恐れのある行動を極力控える**必要があります。特に、旅行で長距離を移動する、多数の人が集まるイベントに参加するといったことを行えば、この間の経過観察が無意味になりますので絶対に避けてください。



3 密閉、密集、密接に注意

狭い空間、多くの人、近い距離の3つの「密」が集団感染の発生を高めます。対面での飛沫感染などは明らかですが、大きな声や息をすることも、肺内のウイルスの拡散につながるようです。お酒を飲んだりカラオケで歌ったりするとどうしても大きな声になり、スポーツをすると息が弾むわけですが、こうしたことが感染しやすい要因になっているようです。

こうした**仕組みをよく理解しながら、実質的に3つの密につながっていないか気をつけて行動**することが大切です。



4 咳エチケット・手洗いを徹底

花粉症のシーズンにも入ります。**くしゃみや咳が出る場合には、必ずマスクを着用**し、飛沫感染の防止に心がけてください。また、手洗い、手指消毒により、接触感染も防止しましょう。

さいごに

ひとたび感染が発生し、学生間での感染の拡大が見られたりすれば、社会的に大きな問題となるだけでなく、授業の実施や皆さんの生活にも大きな影響が出る恐れがあります。

感染が広がってからは抑え込むことは難しくなります。**感染が見られない今のうちから、十分な配慮をしながら行動することが大切**です。弘前大学の学生の皆さんが、責任を自覚した行動をとることによって、新型コロナウイルス感染症に打ち勝ちましょう。